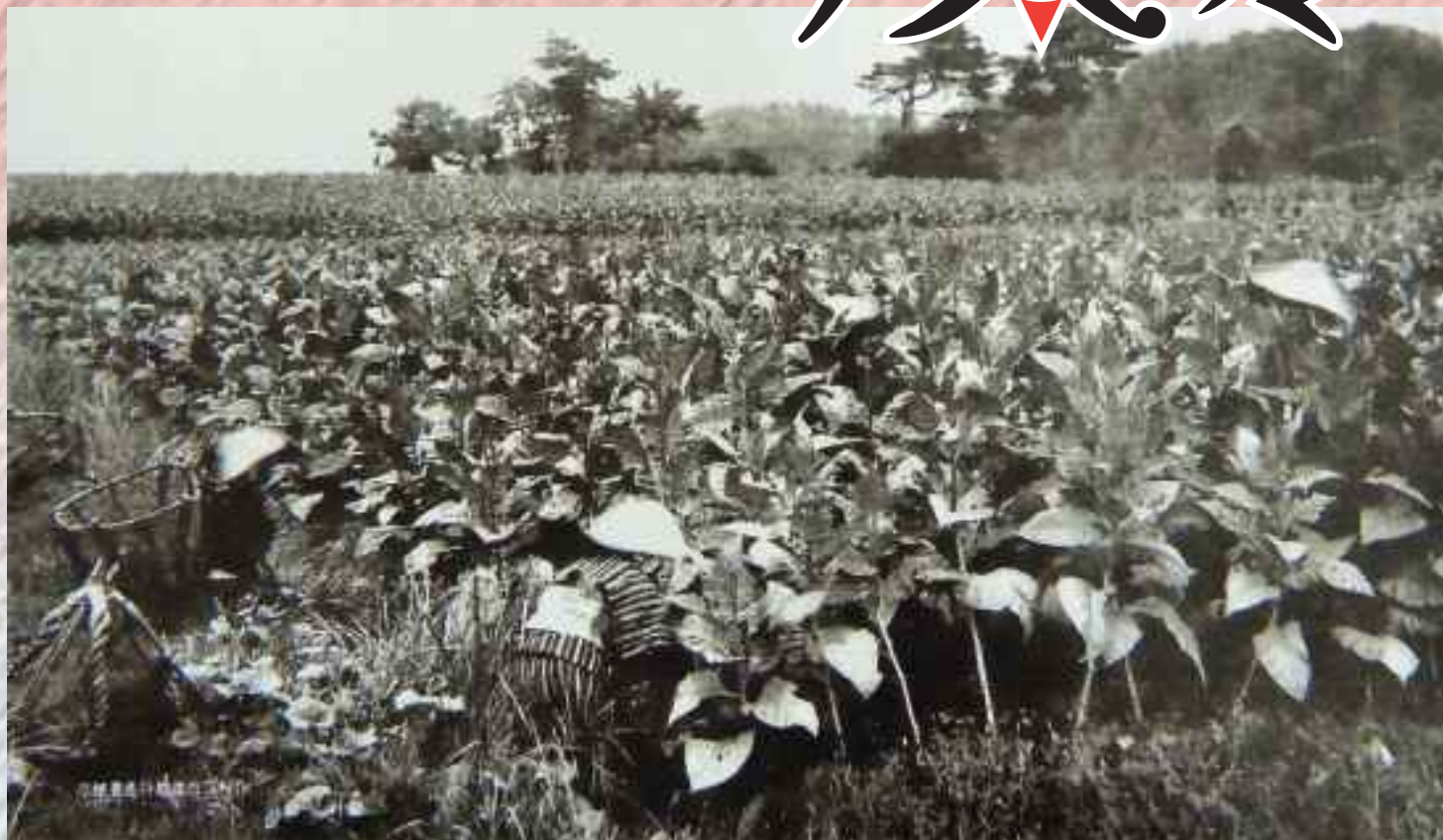


葉たばこ 燦々^{さんさん}

蒜山の暮らしを支えた生業



蒜山の葉たばこ栽培（絵葉書・当館蔵）

2025年

4月26日^土 → 9月28日^日

水曜日休館（ただし8月13日は開館）

開館時間 9:00 ～ 17:00（入館は16:30まで）

入館料 一般（高校生以上）300円／中学生以下無料
団体（20名以上）2割引

※障がい者手帳をお持ちの方と同伴者1名は無料となります。その他の免除についてはお問い合わせください。
※蒜山ミュージアムのチケットをお持ちの場合、ご提示いただければ100円引となります。（個人に限りです）

6月14日（^土）13:30 ～ 開催記念講演会と展示解説会
講師・前原 茂雄氏（当館館長）

※展示解説会には入館券が必要です。講演会のみ無料で聴講いただけます。

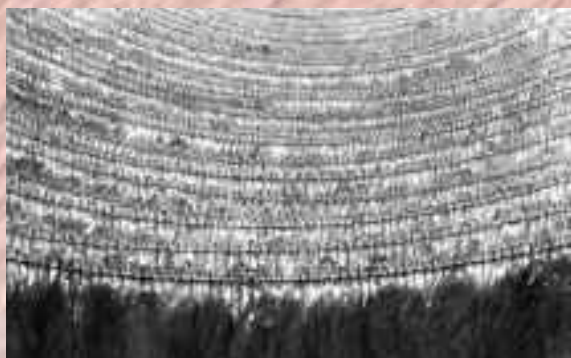
主催 真庭市教育委員会

真庭市蒜山郷土博物館

〒717-0505 岡山県真庭市蒜山上長田 1694
Tel・Fax 0867-66-4667
Email hiruzen-mus@city.maniwa.lg.jp

葉たばこ 燦々^{さんさん}

蒜山の暮らしを支えた生業



葉たばこを干す様子（岡山県立記録資料館蔵）



たばこ畑を背景にした家族写真（岡山県立記録資料館蔵）

かつて、中国山地の各地では、葉たばこが生産されていました。蒜山地域でも、江戸時代以来、稲作と並ぶ主力産業として長く栽培されていました。

積雪量が多い蒜山地域では、降雪の時期までに収穫を終える作物が必要でした。それが葉たばこです。

蒜山地域で栽培されたものは「山中刻」と呼ばれ、西日本でも高く評価されました。地域の人々は、高品質の葉たばこを生産するため、自然や技術に関するあらゆる知識を動員し、工夫を重ねました。いわば、葉たばこ生産が「蒜山の暮らしそのもの」、という時代が長く続いたのです。

本企画展では、古文書や古写真、民俗や文芸など、さまざまな資料を駆使して、蒜山地域における葉たばこ生産のあり方を振り返ります。生産の歴史だけでなく、それを支えた蒜山の人々の営み全体にも注目していきます。



蒜山産の葉たばこ（戦後・当館蔵）



品評会入賞記念の郷原漆器（戦前・個人蔵）

イベントのお知らせ

- 4月 26日(土) 14:00 ~ 開会挨拶と展示解説会
- 5月 25日(日) 13:30 ~ 展示解説会
- 6月 14日(土) 13:30 ~ 開催記念講演会と展示解説会
- 7月 18日(金) 13:30 ~ 展示解説会
- 9月 13日(土) 13:30 ~ 展示解説会

※展示解説会には入館券が必要です。講演会のみ無料で聴講いただけます。

真庭市蒜山郷土博物館

〒717-0505 岡山県真庭市蒜山上長田 1694
Tel・Fax 0867-66-4667
Email hiruzen-mus@city.maniwa.lg.jp

